

Library News



大山崎中学校図書室

令和8年 4月

入学・進級

おめでとうございます！

春がつく言葉には、春爛漫^{はるらんまん}という心がうきうきするような言葉もあれば、春愁^{しゅんしゅう}という春特有のなんとなく物悲しい気持ちを表す言葉もあります。みなさんの今日の気持ちはどちらでしょうか。

図書館は14日から、昼休みと放課後、開館します。今年度もみなさんと一緒に居心地の良い図書室を作っていきたいですね。

4/14
Open!

大山崎中学校図書館 貸出規則

- ・開館日時 火曜 水曜 木曜
昼休みと放課後～4時
- ・貸出冊数 一人2冊
- ・貸出期間 一週間



新一年生におすすめの本

バス通学をする奈鶴と律。毎朝顔をあわせるものの、会話をするのもなく、互いの名前さえ知りません。奈鶴は律が行きたくても受からなかった中学に通う女子で律は別の中学に通う男子なのです。律は自分があこがれていた中学の制服を着ている奈鶴が気に入り、奈鶴もまたあることがきっかけで律を気にしているのですが…。いつ二人が話すことができるのか、ちょっとドキドキのやさしい物語です。

『バスを降りたら』 眞島 めいり PHP 出版



地政学という言葉聞いたことがありますか？ざっくりいうと地理上の観点を重視して政治を考える学問のことです。学問というと、わからないよーってなりがちかもしれませんが、そこは13歳からの…とあるように、本書は会話形式で書かれていて読みやすいです。カイソクとよばれる骨董屋の主人が高校生とその妹の中学生に語りかけるという内容で、まるで物語のようにワクワクしながら一緒に世界のことを考えさせてくれます。

『13歳からの地政学』 田中孝幸 東洋経済新報



春、陸上部の顧問の先生が移動になった。代わりに顧問になったのは去年まで美術部顧問だった美術の先生。もちろん陸上のことはなんにも知らない。やる気もゼロ。俺の中学生生活最後の駅伝はどうなるんだ!?

『あと少し、もう少し』

瀬尾まいこ 新潮社

新着本から

豪太郎は野球部でピッチャーをしているが、それは仮の姿。豪太郎の趣味はあみぐるみを作ることなのだ。でもこれは誰にも言えない秘密。もし同級生にバレたら大変。そんな頃、豪



太郎のクラスに転校生がやって来た。彼はみごとな長い黒髪の男子であり、自分が黒髪を大事に思っていることを隠そうともしない。そしてもう一人、不登校の変ったヤツ、篠田と知り合い、豪太郎は悩み始め……。『ふたのしっぽ』 海緒裕 講談社

司書のひとごと 昨日の本棚から 『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ

日本経済新聞出版



やっぱり朝井リョウは怖ろしい。自分の知らない世界を物凄い精度で見せてくれる。見たくない部分まで。本書は推し活を仕掛ける人、ハマる人、かつてハマってさらなる陰謀論へのめりこむ人、の3人で構成される物語。どの人からも目が離せない。仕掛ける側の国見には、冷徹な戦略があり、「神がないこの国で人を操るには、物語を使うのが一番いいんですよ」と言い放ち、ファンダム獲得を信徒獲得と教義の布教になぞらえる。物語が大好きな私はいったい何に操られているのだろう……。推し活している人は読むべき！